

鹿児島大学大学院連合農学研究科の学位論文審査等に関する細則

平成 16 年 4 月 1 日
鹿大連細則 第 4 号

第 1 章 総則

(趣旨)

第 1 条 この細則は、鹿児島大学学位規則（平成 16 年規則第 117 号）第 25 条及び鹿児島大学大学院連合農学研究科規則（平成 16 年鹿大連規則第 1 号）第 16 条の規定に基づき、鹿児島大学大学院連合農学研究科（以下「研究科」という。）の学位論文の審査等に関し必要な事項を定める。

第 2 章 課程修了による博士の学位

(学位論文提出の資格)

第 2 条 学位論文を提出することのできる者は、次の各号の一に掲げるものとする。

- (1) 本研究科に 3 年以上在学し、必要な研究指導を受け、かつ、授業科目について 12 単位以上を修得した者、又は論文を提出する日の属する学年末までに授業科目について 12 単位以上を修得することが確実である者
- (2) 本研究科に 1 年以上 3 年未満（大学院修士課程において、優れた業績を上げて 2 年未満の在学期間をもって修士課程を修了した者にあつては、当該修士課程における在学期間を含み 3 年以上）在学し、必要な研究指導を受け、論文を提出する日の属する修了予定日までに授業科目について 12 単位以上を修得することが確実で、必要な研究指導を受け、かつ、特に優れた研究業績をあげ主指導教員が推薦した者

(学位論文提出の時期)

第 3 条 前条第 1 号に掲げる者の学位論文審査の申請期限は、次のとおりとする。ただし、その日が土曜日又は日曜日に当たるときは、その直後の月曜日とする。

- (1) 4 月入学者については、最終年次の 12 月 5 日とする。
- (2) 10 月入学者については、最終年次の 5 月 31 日とする。

2 標準修業年限を超えて在学する者および前条第 2 号に掲げる者の学位論文審査の申請期限は、前項各号の規定にかかわらず 12 月 5 日又は 5 月 31 日とする。

(学位論文提出の手続)

第 4 条 第 2 条に掲げる者が、学位論文の審査を受けようとするときは、次に掲げる書類を、主指導教員の承認を得て連合農学研究科長（以下「研究科長」という。）に提出しなければならない。

- (1) 学位申請書(学位第 1 号様式の 1)…………… 1 部
- (2) 学位論文目録(学位第 2 号様式) …… 1 部
- (3) 学位論文目録の説明書（学位第 2 号様式付属書類） …… 1 部
- (4) 学位論文（和文又は英文） …… 6 部
- (5) 学位論文要旨（学位第 3 号様式）〔和文 1,200 字及び英文 500 語以内〕 …… 1 部
- (6) 学位論文の基礎となる学術論文(主論文) …… 2 部
- (7) 成績証明書…………… 1 部
- (8) 履歴書(学位第 4 号様式)…………… 1 部
- (9) 承諾書（共同研究論文の場合）（学位第 6 号様式） ……各 1 部

第3章 論文提出による博士の学位

(学位の授与を申請することができる資格要件)

第5条 論文提出による博士の学位を申請できる者は、次の各号の一に掲げる者とする。

- (1) 本研究科に所定の標準修業年限以上在学し、所定の単位を修得して退学した者
 - (2) 本研究科の学位論文申請資格審査(以下「資格審査」という。)に合格した者
- (学位論文提出の手続)

第6条 前条各号に掲げる者が、学位論文の審査を受けようとするときは、次に掲げる書類に学位論文審査手数料(前条第1号に掲げる者のうち、退学した日から1年以内の者は除く。)を添え研究科長に提出しなければならない。

- (1) 学位申請書(学位第1号様式の2) 1部
- (2) 学位論文目録(学位第2号様式) 1部
- (3) 学位論文目録の説明書(学位第2号様式付属書類) 1部
- (4) 学位論文(和文又は英文) 6部
- (5) 学位論文要旨(学位第3号様式) [和文1,200字及び英文500語以内] 1部
- (6) 学位論文の基礎となる学術論文(主論文) 2部
- (7) 成績証明書 1部
- (8) 履歴書(学位第4号様式) 1部
- (9) 最終学校の卒業・修了証明書 1部
- (10) 研究歴証明書(学位第5号様式) 1部
- (11) 承諾書(共同研究論文の場合)(学位第6号様式) 各1部

(資格審査)

第7条 第5条第2号の資格審査を受けようとする者は、学位論文申請資格審査願(学位第7号様式)及び第6条に規定する書類を研究科長に提出するものとする。

- 2 研究科長は、前項の願出があったときは、資格審査を連合農学研究科代議委員会(以下「代議委員会」という。)に付託する。
- 3 代議委員会は、付託を受けてから2か月以内に資格審査を行い、その結果を研究科長に報告するものとする。
- 4 研究科長は、前項の審査結果を研究科教授会に付議し、学位論文の受理の可否を決定する。
- 5 資格審査の基準は、別に定める。

第4章 論文審査

(評価基準)

第8条 博士論文の審査は、ディプロマ・ポリシーに従い、学位申請者が提出した博士論文の構成、内容の新規性や学術的価値等に対する項目について評価を行い、併せて、申請者の専門知識、企画・実行力、プレゼンテーション力と発展性等を総合して判断する。

(審査委員会)

第9条 研究科教授会は、学位論文を受理したときは、学位論文審査申請者ごとに速やかに審査委員を選出し、審査委員会を組織する。

- 2 審査委員は、主査1名、副査4名とする。
- 3 主査は、第2条各号に掲げる者にあつては主指導教員とし、第5条各号に掲げる者にあつては研究科長が推薦する主指導教員資格者とする。

4 岩手大学、東京農工大学、岐阜大学、鳥取大学および愛媛大学の連合農学研究科主指導教員資格者は、無審査で副査とすることができる。

5 前項の副査は1名とし、第2項の内数とする。

6 審査委員会は、学位論文審査のため必要と認めた場合は、他の大学院若しくは研究所等の教員等の協力を得ることができる。

(論文の審査及び最終試験又は学力の確認)

第10条 審査委員会は、学位論文を受理した日から1年以内に論文の審査及び最終試験又は学力の確認を終了し、その結果を研究科教授会に文書で報告しなければならない。

2 前項に規定する報告は、学位論文審査結果の要旨(学位第8号様式)、最終試験結果の要旨(学位第9号様式)又は学力確認結果の要旨(学位第10号様式)及び学位論文等評価表(学位第11号様式)により行うものとする。

3 最終試験は、第2条各号に掲げる者について、学位論文を中心としてこれに関連する科目について口答又は筆答により行う。

4 第5条各号に掲げる者は、第2条各号に掲げる者と同等以上の学力を有することを確認するため、学位論文を中心として、これに関連のある科目について口答又は筆答により学力の確認を行う。この場合、外国語については、英語、ドイツ語及びフランス語のうち1科目について行う。ただし、外国人については、日本語を加えて選択できる。

5 論文審査に際しては、必要に応じて学位論文審査申請者に対して参考論文の提出を求めることができるものとする。

(学力確認の免除)

第11条 第5条第1号に掲げる者のうち退学後3年以内の者は、学力の確認を免除する。

第5章 雑則

第12条 この細則に定めるもののほか必要な事項は、代議委員会の議を経て研究科長が定める。

附 則

この細則は、平成16年4月1日から施行する。

附 則

この細則は、平成20年4月1日から施行する。

附 則

1. この細則は、平成21年4月1日から施行する。

2. 平成21年3月31日以前に連合農学研究科に入学した者については、改正後の第1条及び第2条並びに第4条から第6条の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

この細則は、平成23年4月1日から施行する。

附 則

この細則は、平成25年2月15日から施行する。

附 則

この細則は、平成26年2月14日から施行する。

附 則

この細則は、平成 27 年 2 月 1 日から施行する。

附 則

この細則は、平成 28 年 9 月 2 日から施行する。

附 則

この細則は、令和元年 6 月 10 日から施行する。

附 則

この細則は、令和元年 9 月 6 日から施行する。

(学位第1号様式の1)

学位申請書

年 月 日

鹿児島大学大学院連合農学研究科長 殿

申請者
鹿児島大学大学院連合農学研究科

専攻
年度入学
氏 名 ⑤

第2項
第4項
鹿児島大学学位規則第7条の規定に基づき、下記のとおり関係書類を添え学位を申請いたします。

記

1. 学位論文目録 1部
2. 学位論文目録の説明書 1部
3. 学位論文 6部
4. 学位論文要旨 (和文及び英文) 1部
5. 学位論文の基礎となる学術論文 (主論文) 2部
6. 成績証明書 1部
7. 履歴書 1部
8. 承諾書 各1部

主指導教員氏名

⑤

(学位第1号様式の2)

学位申請書

年 月 日

鹿児島大学大学院連合農学研究科長 殿

申請者
氏 名 ⑤

鹿児島大学学位規則第7条第3項の規定に基づき、下記のとおり関係書類を添え学位を申請いたします。

記

1. 学位論文目録 1部
2. 学位論文目録の説明書 1部
3. 学位論文 6部
4. 学位論文要旨 (和文及び英文) 1部
5. 学位論文の基礎となる学術論文 (主論文) 2部
6. 履歴書 1部
7. 成績証明書 1部
8. 最終学校卒業・修了証明書 1部
9. 研究歴証明書 1部
10. 承諾書 各1部

主査となる教員氏名

⑤

(学位第2号様式)

学位論文目録

氏名 _____ 年 月 日 印

学位論文

題目 _____

主論文 I

題目 _____

著者氏名 _____

学術雑誌名 _____

(巻、号、頁) _____

発行年月 _____ 年 月 発行・発行予定 _____

(Online 年 月) 又は (DOI 番号あるいは PMID _____)

主論文 II

題目 _____

著者氏名 _____

学術雑誌名 _____

(巻、号、頁) _____

発行年月 _____ 年 月 発行・発行予定 _____

(Online 年 月) 又は (DOI 番号あるいは PMID _____)

注：課程修了による者の主論文2編のうち、1編について投稿中のものがある場合は、「発行・発行予定」を二重線で消し、その箇所の横に「投稿中」と記載すること。

主論文 III

題目 _____

著者氏名 _____

学術雑誌名 _____

(巻、号、頁) _____ (. . . ~)

発行年月 _____ 年 月 発行・発行予定 _____

(Online 年 月) 又は (DOI 番号あるいは PMID _____)

主論文 IV

題目 _____

著者氏名 _____

学術雑誌名 _____

(巻、号、頁) _____ (. . . ~)

発行年月 _____ 年 月 発行・発行予定 _____

(Online 年 月) 又は (DOI 番号あるいは PMID _____)

主論文 V

題目 _____

著者氏名 _____

学術雑誌名 _____

(巻、号、頁) _____ (. . . ~)

発行年月 _____ 年 月 発行・発行予定 _____

(Online 年 月) 又は (DOI 番号あるいは PMID _____)

主論文 VI

題目 _____

著者氏名 _____

学術雑誌名 _____

(巻、号、頁) _____ (. . . ~)

発行年月 _____ 年 月 発行・発行予定 _____

(Online 年 月) 又は (DOI 番号あるいは PMID _____)

参考文献 I

題 目 _____

著者氏名 _____
学術雑誌名 _____
(巻、号、頁) _____ (. . . ~)
発行年月 _____ 年 _____ 月 _____ 発行・発行予定

参考文献 II

題 目 _____

著者氏名 _____
学術雑誌名 _____
(巻、号、頁) _____ (. . . ~)
発行年月 _____ 年 _____ 月 _____ 発行・発行予定

参考文献 III

題 目 _____

著者氏名 _____
学術雑誌名 _____
(巻、号、頁) _____ (. . . ~)
発行年月 _____ 年 _____ 月 _____ 発行・発行予定

参考文献 IV

題 目 _____

著者氏名 _____
学術雑誌名 _____
(巻、号、頁) _____ (. . . ~)

(学位第 2 号様式 付属書類)

学位論文目録の説明書

年 月 日

鹿児島大学大学院連合農学農学研究科長 殿

主指導教員
または
紹介教員
(学位論文申請者)

印

主論文に記載されている各学術雑誌について、以下のように説明します。

主論文 I

1. 学 術 雑 誌 名
2. 学会・出版団体等名
(国名を付記)
3. 「学位論文審査等に関する申合せ」における主論文の要件等の適用条項
第 1 項第 1 号 (PubMed) 第 1 項第 2 号 (Clarivate) 第 1 項第 3 号 (日本学術会議)
第 2 項 (社会科学系)
第 3 項 (水産工学系)
4. 「短報」の場合は、業績として評価できる理由を説明して下さい。

主論文 II

1. 学 術 雑 誌 名
2. 学会・出版団体等名
(国名を付記)
3. 「学位論文審査等に関する申合せ」における主論文の要件等の適用条項
第 1 項第 1 号 (PubMed) 第 1 項第 2 号 (Clarivate) 第 1 項第 3 号 (日本学術会議)
第 2 項 (社会科学系)
第 3 項 (水産工学系)
4. 「短報」の場合は、業績として評価できる理由を説明して下さい。

主論文III

1. 学術雑誌名
2. 学会・出版団体等名
(国名を付記)
3. 「学位論文審査等に関する申合せ」における主論文の要件等の適用条項
第1項第1号(PubMed) 第1項第2号(Clarivate) 第1項第3号(日本学術会議)
第2項(社会科学系)
第3項(水産工学系)
4. 「短報」の場合は、業績として評価できる理由を説明して下さい。

主論文IV

1. 学術雑誌名
2. 学会・出版団体等名
(国名を付記)
3. 「学位論文審査等に関する申合せ」における主論文の要件等の適用条項
第1項第1号(PubMed) 第1項第2号(Clarivate) 第1項第3号(日本学術会議)
第2項(社会科学系)
第3項(水産工学系)
4. 「短報」の場合は、業績として評価できる理由を説明して下さい。

主論文V

1. 学術雑誌名
2. 学会・出版団体等名
(国名を付記)
3. 「学位論文審査等に関する申合せ」における主論文の要件等の適用条項
第1項第1号(PubMed) 第1項第2号(Clarivate) 第1項第3号(日本学術会議)
第2項(社会科学系)
第3項(水産工学系)
4. 「短報」の場合は、業績として評価できる理由を説明して下さい。

(学位第3号様式)

学位論文要旨

氏名

題目

(学位第4号様式)

履 歴 書

No.1

ふりがな 氏 名	本 籍 国 籍		都 道 府 県
	男	女	
生年月日	年 月 日 生 (満 歳)		
現住所	〒 電話 () -		

学 歴 (高等学校卒業以後の学歴を年代順に記入すること。)

年 月 日	事 項
年 月 日	高等学校卒業
年 月 日	
年 月 日	
年 月 日	
年 月 日	
年 月 日	
年 月 日	
年 月 日	
年 月 日	

職 歴

年 月 日	事 項
年 月 日	
年 月 日	
年 月 日	
年 月 日	
年 月 日	
年 月 日	
年 月 日	

研究歴 (研究期間、研究内容等を年代順に記入すること。)

No.2

年 月 日	事 項
年 月 日	
年 月 日	
年 月 日	
年 月 日	
年 月 日	
年 月 日	
年 月 日	

学会及び社会における活動状況

年 月 日	事 項
年 月 日	
年 月 日	
年 月 日	
年 月 日	
年 月 日	

賞 罰

年 月 日	事 項
年 月 日	
年 月 日	
年 月 日	

上記のとおり相違ありません。

年 月 日

氏 名 ㊟

(学位第 6 号様式)

承 諾 書

鹿児島大学大学院連合農学研究科長 殿
鹿児島大学大学院連合農学研究科長 殿

年 月 日

共著者氏名 _____ ④

所 属 _____

職 名 _____

論文題目 _____

著者氏名 _____

学術雑誌
(卷、号、頁) (.)

発行年月 _____ 年 _____ 月 _____ 発行・発行予定

上記論文を _____ 氏が、鹿児島大学大学院連合農学研究科に、
博士（農学・水産学・学術）の学位申請論文として提出することを承諾します。
なお、当該論文は、学位論文として過去において使用せず、また、将来におい
ても使用しません。

(学位第 5 号様式)

研究 歴 証 明 書

鹿児島大学大学院連合農学研究科長 殿

所 属 _____
氏 名 _____
生年月日 _____ 年 _____ 月 _____ 日生

上記の者は、下記のとおり研究に従事したことを証明します。

記

1. 在職期間及び研究期間
在 職 期 間 _____ 年 _____ 月 _____ 日 ~ _____ 年 _____ 月 _____ 日
研究従事期間 _____ 年 _____ 月 _____ 日 ~ _____ 年 _____ 月 _____ 日
研究従事時間 _____ 週平均 _____ 時間

2. 研究従事期間の身分 _____
3. 研究指導者の職・氏名 _____
4. 主な研究内容（年代順に役割・分担を記入のこと。）

年 月 日

所属長

職印

学位論文審査結果の要旨

学位申請者 氏名	
主査	大学 職名 氏名 ㊦
副査	大学 職名 氏名 ㊦
副査	大学 職名 氏名 ㊦
副査	大学 職名 氏名 ㊦
副査	大学 職名 氏名 ㊦
副査	大学 職名 氏名 ㊦
審査協力者	所属 職名 氏名 ㊦
題目	

学位論文申請資格審査願

鹿児島大学大学院連合農学研究科長 殿

鹿児島大学大学院連合農学研究科の学位論文審査等に関する細則第 7 条に規定する学位論文申請資格審査を受けたいので、所定の書類を添え申請します。

年 月 日

申請者 ㊦

主査となる教員 ㊦

最終試験結果の要旨

学位申請者 氏名	
主査	大学 職名 氏名 ㊦
副査	大学 職名 氏名 ㊦
審査委員	副査 大学 職名 氏名 ㊦
	副査 大学 職名 氏名 ㊦
	副査 大学 職名 氏名 ㊦
審査協力者	所属 職名 氏名 ㊦
実施年月日	年 月 日
試験方法 (該当のものを○で囲むこと。) 口答・筆答	
<p>(記入例)</p> <p>主査及び副査は、 年 月 日の公開審査会において学位申請者に 対して、学位申請論文の内容について説明を求め、関連事項について試験を行っ た。具体的には別紙のような質疑応答がなされ、いずれも満足できる回答を得る ことができた。</p> <p>以上の結果から、審査委員会は申請者が博士()の学位を受けるに必要 な十分な学力ならびに識見を有すると認めた。</p>	

学力確認結果の要旨

学位申請者 氏名	
主査	大学 職名 氏名 ㊦
副査	大学 職名 氏名 ㊦
副査	大学 職名 氏名 ㊦
副査	大学 職名 氏名 ㊦
副査	大学 職名 氏名 ㊦
副査	大学 職名 氏名 ㊦
審査協力者 所属	職名 氏名 ㊦
実施年月日	年 月 日
試験方法 (該当のものを○で囲むこと。) 口答・筆答	
<p>(記入例)</p> <p>主査及び副査は、 年 月 日の公開審査会において学位申請者に 対して、学位申請論文の内容について説明を求め、関連事項について試験を行っ た。具体的には別紙のような質疑応答がなされ、いずれも満足できる回答を得る ことができた。</p> <p>以上の結果から、審査委員会は申請者が大学院博士課程修了者と同等以上の学 力ならびに識見を有するものと認め、博士 () の学位を与えるに十分な資 格を有するものと認めた。</p>	

学位申請者
氏名

(記入例)

[質問 1]

[回答 1]

[質問 2]

[回答 2]

・

・

・

・

・

・

[質問]

[回答]

学位論文等評価表 (課程博・論博)

No. 2

主査所属大学名

主査氏名

印

学位申請者 氏名	
(記入例)	
[質問 1]	
[回答 1]	
[質問 2]	
[回答 2]	
・	
・	
・	
・	
・	
・	
[質問]	
[回答]	

A 学位論文評価

学位申請者	氏名:				平均点
論文題目					(100 点満点)
公開審査会 開催日時等	開催日:	年	月	日 ()	
審査委員	時間:	時	分	分	
主査	所属	氏名		項目別評価	総合評価
	職名			(100 点満点)	
副査 (第 1 副指導教員)	大学			① 点/80 点	点
				② 点/20 点	
副査 (第 2 副指導教員)	大学			① 点/80 点	点
				② 点/20 点	
副査	大学			① 点/80 点	点
				② 点/20 点	
副査	大学			① 点/80 点	点
				② 点/20 点	

項目別評価

①学位論文: 構成、内容、新規性、学術的評価を 80 点満点で評価する

②申請者の能力: 専門知識、企画・実行力、プレゼンテーション力、発展性を 20 点満点で評価する

・総合評価は 100 点制で行い、平均点が 60 点未満は不合格とする。小数点以下は四捨五入。

・総合評価欄は、①②の合計点数を記入する。

B 本研究科のディプロマ・ポリシーに定める能力の評価 (審査委員 5 名の合議による。)

項目	評価
・「博士」として社会から期待される品位と高度な専門知識を持ち、農林水産分野の課題探求と解決に至るまでの研究を、自立的に遂行出来る能力を具備している	適 ・ 不適
・「研究者・技術者・教育者」として、地域社会から国際社会まで幅広く活躍できる能力とリーダーシップ精神が涵養されている	

※上記の能力が備わっているか否かを、適あるいは不適で判定する。